

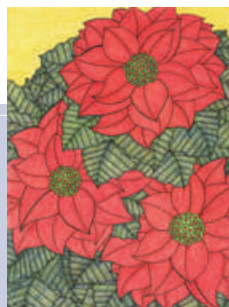
株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日 3月31日
(中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会 毎年6月
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
<連絡先> 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
平日9:00-17:00 オペレーター対応
<郵送先> 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
公告方法 電子公告
(<https://www.miraca.com/>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株式に関する手続き等について

お問い合わせ内容	証券会社にて株式をお持ちの場合	特別口座*の場合
住所変更		
単元未満株式の買取・買増請求	お取引のある証券会社にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
配当金受取方法の変更		
未受領の配当金の受取方法	三菱UFJ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)	

*株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)に預託されていなかった株主様の株式は、当社が株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行に「特別口座」を開設して記録、管理しております。



【表紙の作品について】

表紙の絵は、三浦有子さん作「ポインセチア」(パラリンアート作品)です。

※「パラリンアート」とは、障がい者の社会的参加と経済的自立を彼らの芸術的表現を通じて支援する、一般社団法人障がい者自立推進機構による活動です。みらかグループは「パラリンアート」を支援しています。

みらかホールディングス株式会社

〒163-0408 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビルディング
お問い合わせ: IR/SR部 TEL 03-5909-3337
<https://www.miraca.com/>



証券コード: 4544



第69期 中間株主通信

2018.4.1 → 2018.9.30

69th
First-half
Business
Report



臨床検査薬
事業

受託臨床
検査事業

Miraca

ヘルスケア
関連事業

Contents

グループメッセージ	2
Top Message	3
連結財務ハイライト	5
セグメント別情報	6
TOPICS	7
特集1 新セントラルラボラトリー設立に向けて	9
特集2 訪問看護事業スタート	11
IRニュース	12
会社概要	13
株式の状況	14

人と医療のまんなかで、

私たちの仕事、

それは何百万、何千万というからだのデータを通して、
そして医療の現場で、人々の健康を見守っている仕事です。

その仕事は、表に見える仕事ではないけれど、
今日も人々と医療の間で健康を支えている。

私たちには、私たちだけが見えている未来があります。
それはたくさんのデータが教えてくれる、いのちの未来。

大きな世の中の変化の中で、
私たちにしかつくりだすことができない、健康の未来。

私たちは、見つけたい。

誰もが健康で長く生きられる社会のために、
まだ誰も気づいていない、人間のからだの可能性を。

私たちは、動きだす。

見守るだけでなく、何が大切かを自らが見つけ出し、
人々と医療の進歩を、確かな信頼でつなげていくために。

人と医療のまんなかで、

変わらない使命のために、
私たちはひとつになって、変わり続ける。



将来の成長に向けて 重要施策と基盤整備を推進

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2019年3月期中間期の業績概況

当中間期の業績につきましては、売上高は896億64百万円(前年同期比13.7%減)、営業利益は70億23百万円(前年同期比45.6%減)となりました。

売上高は、米国で病理検査事業を行うMiraca Life Sciences, Inc. (以下、「MLS」)を2017年11月に売却、連結除外となったこと、また国内受託臨床検査事業は増収となったものの臨床検査薬事業およびヘルスケア関連事業の減収を補うことができなかつたことから、減収となりました。利益面では、各事業で成長のための先行費用が発生したことにより減益となりました。

また、前年同期にMLS売却に伴う減損損失を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となりました。

みらかホールディングス株式会社
代表執行役社長 兼 グループCEO

竹内 成和

中期計画の進捗

当年度は、中期計画『Transform! 2020』の2年目にあたり、将来の飛躍的かつ持続的な成長に向けた諸施策に取り組んでおります。

受託臨床検査事業では、ショールーム機能も備えた全自動ラボラトリー「SRL Advanced Lab. Azabu」を開設するなど首都圏を中心とした開業医市場のシェア拡大に取り組まれました。また、院内検査事業の強化を積極的に進めた結果、顧客数、検査数量ともに伸長させることができました。同時に、がんゲノム検査など付加価値の高い新規検査の導入も積極的に進めております。一方、コスト面では、業務フローや組織体制の見直し、AI(人工知能)を含むITシステムの導入など、多くの効率化施策にも取り組んでおり、今後、これら施策による経費削減効果が発現するものと考えております。

臨床検査薬事業では、国内市場において高処理能力をもつ最新検査機器「ルミパルス®L2400」の設置を推進、市場設置台数を伸長することができまし

た。試薬の採用項目数の増加など機台当たりの売上拡大も含め、今後も成長を目指してまいります。

ヘルスケア関連事業では、中長期的な社会保障費の動向や政府の方針も見据え、食品・環境・化粧品検査事業の準備会社の設立、訪問看護事業等への参入を行いました。

長期的な成長に向けて

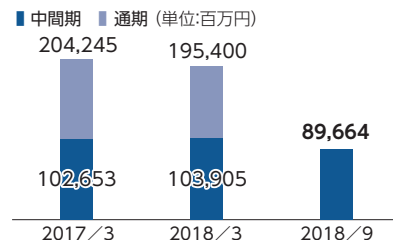
事業環境が大きく変化するなか、将来においても社会から必要とされる会社でありたい——そのために、みらかグループの中核施設として、圧倒的な技術力・処理能力を有した最先端の検査ラボラトリーおよび研究開発施設を建設することを発表しました。2021年の稼働開始に向けて、準備を進めてまいります。

下期におきましても、将来の成長のために、引き続き重要施策の推進と基盤整備のための積極的な投資を進めてまいります。株主のみなさまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

売上高

売上高
896億64百万円
前年同期比 13.7%減



前中間期からの主な増減

当中間期の売上高は、国内受託臨床検査事業の売上が伸長したものの、米国で病理検査事業を営むMLSを売却し、2017年11月をもって同社が連結除外となったことによる減収、臨床検査薬事業およびヘルスケア関連事業の減収などにより、減収となりました。

利益面では、各事業において成長のための先行費用が発生したことなどにより、営業利益、経常利益ともに減益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は44億73百万円となりました。(前中間期はMLSの売却に伴う減損損失の影響により、親会社株主に帰属する四半期純損失50億71百万円)

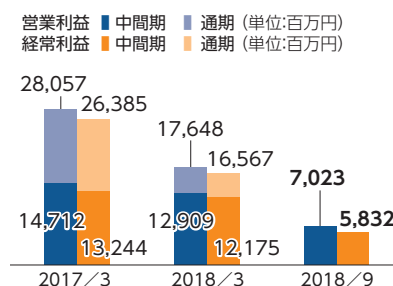
前期末からの主な増減

当中間期末の総資産は、主に借入金の増加による現金及び預金の増加、国内受託臨床検査事業における検査機器等の有形固定資産の増加により219億11百万円増加し、1,979億79百万円となりました。

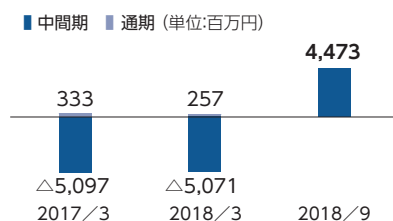
また、純資産は29億32百万円増加し、1,161億58百万円となりました。

利益

営業利益
70億23百万円
前年同期比 45.6%減



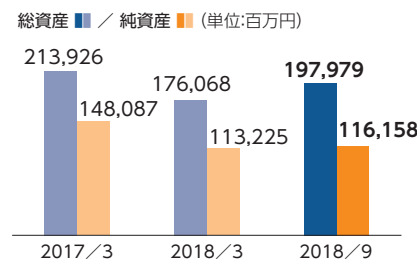
経常利益
58億32百万円
前年同期比 52.1%減



親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益/損失
44億73百万円

資産

総資産
1,979億79百万円
純資産
1,161億58百万円

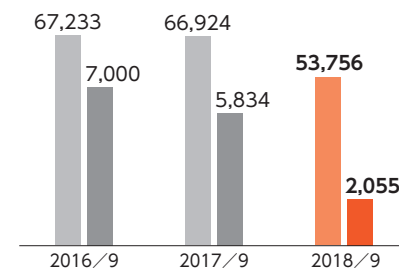


セグメント別情報

受託臨床検査事業



売上高 / 営業利益 (単位:百万円)



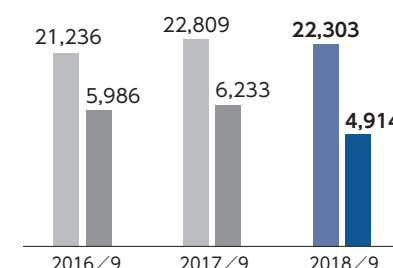
国内事業で新規顧客を獲得したことなどにより増収となったものの、MLSの連結除外の影響により減収となりました。利益面では、国内事業で成長のための先行費用が発生したことなどにより減益となりました。

これらの結果、売上高は537億56百万円(前年同期比19.7%減)、営業利益は20億55百万円(前年同期比64.8%減)となりました。

臨床検査薬事業



売上高 / 営業利益 (単位:百万円)



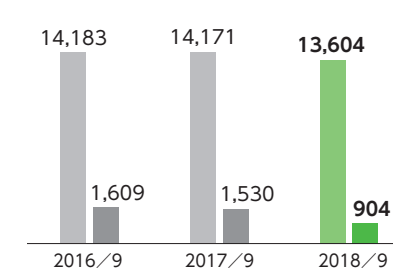
前年同期に海外子会社にて計上した一過性売上の反動などにより減収となりました。利益面では、減収に伴う減益に加え、研究開発費など将来の成長のための先行費用が発生したことにより減益となりました。

これらの結果、売上高は223億3百万円(前年同期比2.2%減)、営業利益は49億14百万円(前年同期比21.1%減)となりました。

ヘルスケア関連事業



売上高 / 営業利益 (単位:百万円)



ヘルスケア関連事業の売上高は、主に治験事業における売上発現が遅延したことにより136億4百万円(前年同期比4.0%減)となりました。

また営業利益は、滅菌事業における基盤強化費用の計上などにより9億4百万円(前年同期比40.9%減)となりました。

がん遺伝子検査サービスの新会社設立

みらかグループではがんゲノム医療分野に注力しており、様々な取り組みを進めております。そのひとつとして、今年9月、エスアールエルは静岡県立静岡がんセンターと共同出資で、がん遺伝子検査サービスを行う新会社を設立いたしました。

新会社では、共同研究「プロジェクトHOPE」*にて構築した臨床データベースを活用し、高品質な検査サービスを提供してまいります。また、がん患者さんの診断や治療の向上に向けて、新技術開発も行ってまいります。



エスアールエル・静岡がんセンター
共同検査機構株式会社

※「プロジェクトHOPE」とは…

エスアールエルと静岡県立静岡がんセンターが2014年1月から開始した共同研究。静岡がんセンターでがん摘出手術を受けた患者さんの遺伝子解析などを実施、5,000症例を超えるがんマルチオミクス臨床データベースを構築している。

グローバル展開の推進 [MEDICAL FAIR ASIA 2018]への出展

臨床検査薬事業では、グローバルでの認知度向上と新興国市場へのルミパルス事業参入に向けて、海外展示会や学会に積極的に参加しております。

8月には、医療関連企業の国際展示会である「MEDICAL FAIR ASIA 2018」にて、シンガポール子会社Fujirebio Asia Pacificから初のルミパルス機器の展示を行いました。東南アジアを中心に多くのお客さまにブースにお立ち寄りいただき、「ルミパルス」をアピールする機会となりました。



MEDICAL FAIR ASIA 2018 出展ブースにて

協賛コンサートの開催「THE PIANIST!」

みらかグループは、ブランドイメージの向上と文化・芸術の振興支援を目的として、昨年に引き続き、辻井伸行氏の出演するピアノコンサートに特別協賛いたしました。

今年は辻井伸行氏に加えて、人気ピアニストのファジル・サイ氏、兄弟でのピアノ連弾デュオのレ・フレールの豪華3組の演奏が堪能できるコンサートとして開催されました。



8~9月にかけて全国7か所で開催されました。

お客さま向けフォーラムの開催

みらかグループでは、お客さまである医療機関や臨床医・検査技師の方々への情報提供の場として、フォーラムなどを開催しております。

今回で15回目となる「SRL Update Forum」では、『糖尿病診療の新たな展開』というテーマのもと、多数の方々にご来場いただきました。

また、富士レビオでも「FUJIREBIO Forum」を今年から開催、幅広い検査情報の提供や技術教育などを行い、お客さまから高評価を頂戴しております。



西日本豪雨災害への支援活動

今年7月の西日本豪雨災害に対して、みらかグループでは、今年度より新たに導入した「みらか災害寄附スキーム」（従業員が自発的に行った寄附の申告額の合計と同額以上を会社からも寄附する仕組み）を通じて、総額93万円を寄附金・義援金として送付いたしました。



岡山県高梁市での被災支援ボランティアでは、7月15~16日にわたり従業員延べ18人が参加いたしました。

新セントラルラボラトリー設立に向けて

私たちを取り巻く事業環境は急速に変化しております。医療費抑制に伴い国内の検査市場は成長が鈍化しておりますが、その一方で高齢化の進行、先進医療やIT技術の進歩、医療ニーズの多様化などに伴い新たな成長機会も生まれております。

このような変化のなかで、人々の健康に貢献しつづける企業であるために、みらかグループは新たにセントラルラボラトリーを設立することといたしました。2021年の開設に向けて着々と建設プロジェクトを進めております。

新セントラルラボラトリーの概要

特徴

1

自動化、IT・AIの活用、 効率的な動線づくり

- 一般検査の全自動化、24時間稼働を想定
- 特殊検査では最先端の検査項目に対応可能な設備やAI技術を導入
- 地域ラボとのラボネットワークの最適化

**検査品質の向上、検査スピードの向上、
徹底したコスト低減を目指します。**

- 所在地 東京都あきる野市
- 敷地面積 約122,000㎡ (約3万7千坪)
- 延床面積 約66,000㎡
- 受託能力 最大1日30万ID (一般検査・特殊検査の合計)
- 総事業規模 約750億円
- 建物着工 2019年2月 (予定)
- 竣工 2020年6月 (予定)
- 稼働開始 2021年春 (予定)

(イメージ図)

検査ラボ棟

R&D棟

管理・厚生施設

▶プレゼンテーション動画のご案内

2018年6月25日に新セントラルラボラトリーの概要説明会を開催いたしました。竹内社長によるプレゼンテーション動画が、当社ウェブサイト (<https://www.miraca.com/>) よりご覧になれます。
(2018年12月末まで配信予定)



特徴

2

研究開発の推進

- グループ基礎研究およびオープンイノベーション推進の主拠点へ
- 「開発」と「検査現場」が近接することで、開発から導入へのプロセスのスピード化が可能に

将来の新事業創出を目指します。

特徴

3

災害時の事業継続

- 免震・耐震構造

**大規模な災害時にも
安定した検査の実施を目指します。**

訪問看護事業スタート

政府が地域包括ケアシステム*の構築を推進するなか、在宅医療・在宅介護サービスへのニーズが高まりつつあります。

このような環境変化を見据え、みらかグループはこの度、グループ会社ケアレックスを通じて新たに訪問看護事業等（訪問看護事業、居宅介護支援事業）を開始いたしました。

*高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域の包括的な支援・サービス提供体制



三つ星評価をいただけるサービスを目指して

2018年10月1日より、「スターク (star-Q)」の名前のもと、関東・関西圏に4拠点を開設いたしました。

訪問看護ステーションとケアプランセンターを併設した各拠点では、ICT（情報通信技術）を活用することで看護師やヘルパー間での情報共有や他職種とのスピーディーな連携が可能になります。また、看護師への教育・研修制度を充実させることで、サービスレベルの向上や多様なニーズへの対応を目指します。



スターク訪問看護ステーション
スタークケアプランセンター

さらに、東京都にて訪問看護事業を展開する株式会社集い介護センターを10月1日付で買収いたしました。これにより、東京23区内においてもサービスを展開してまいります。

初のBtoC事業への本格参入

これまでみらかグループは、臨床検査を中心に、主に医療機関や検査センターをお客さまとして事業を展開してまいりました。今回の訪問看護事業は、みらかグループにとっては初のBtoC事業（一般消費者向け事業）への本格参入となりますが、これまで私たちが培ってきた品質・安全への方針・体制を活かした質の高いサービスを提供してまいります。

スターク訪問看護ステーションについての詳細は下記ウェブサイトまで
<https://carex-houkan.com/>



スターク訪問看護ステーション三鷹にて

IRニュース

アニュアルレポート、CSRレポートを発行しました

2018年3月期より、みらかグループの事業と持続的な成長に向けた取り組みについてステークホルダーのみなさまにより一層ご理解を深めていただくために、グループ初となるアニュアルレポートとCSRレポートを発行いたしました。どちらも当社ウェブサイトよりご覧になれます。

●アニュアルレポート2018 <https://www.miraca.com/ir/library/annual/>



●CSRレポート2018

<https://www.miraca.com/csr/>



株主のみなさまの声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主のみなさまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、2019年2月10日までを予定しております。

<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4544

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-6779-9487(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

(1809)

会社概要 (2018年9月30日現在)

社名	みらかホールディングス株式会社	資本金	9,109百万円
本社所在地	〒163-0408 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビルディング TEL: 03-5909-3335 (代表)	経営体制	指名委員会等設置会社
		従業員数	5,988名 (連結)

役員一覧 (2018年6月22日現在)

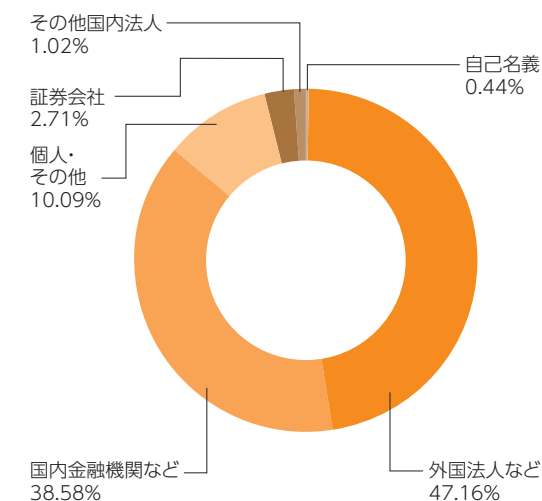


- | | | | | | | |
|-------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|---------------------------|---------------------------|-----------------|
| 1 取締役 代表執行役社長
兼 グループCEO
竹内 成和 | 2 取締役 執行役
兼 CFO
北村 直樹 | 3 社外取締役
青山 繁弘 | 4 社外取締役
天野 太道 | 5 社外取締役
石黒 美幸 | 6 社外取締役
伊藤 良二 | 7 社外取締役
山内 進 |
| 8 執行役
IVD担当
芦原 義弘 | 9 執行役
国内CLT担当
東 俊一 | 10 執行役
人事、CSR担当
大月 重人 | 11 執行役
総務・広報、IT担当
木村 博昭 | 12 執行役
事業開発担当
羽生 和之 | 13 執行役
企画管理担当
長谷川 正 | |

株式の状況 (2018年9月30日現在)

発行可能株式総数 200,000,000株
 発行済株式の総数 57,359,735株
 1単元の株式数 100株
 株主数 7,530名

所有者別株式数の状況



大株主の状況

氏名又は名称	所有株式数(千株)	持株比率(%)
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	4,483.9	7.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,989.7	6.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,754.1	6.57
JP MORGAN CHASE BANK 385632	3,391.3	5.94
株式会社みずほ銀行	2,132.1	3.73
第一生命保険株式会社	2,000.7	3.50
日本生命保険相互会社	1,538.6	2.69
STATE STREET CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM44	1,299.3	2.28
明治安田生命保険相互会社	1,272.2	2.23
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST, BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS- UNITED KINGDOM	1,183.1	2.07

- (注) 1. 持株比率は自己株式253,319株を除いて計算しております。
 2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社および日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式数は、全て信託業務に係るものであります。
 3. 株式会社みずほ銀行の株式数には、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式2,131.5千株(持株比率3.73%)を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)

配当金について

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要施策のひとつとして位置づけております。配当については、連結配当性向の基準を特別損益等特殊要因を除いた純利益の50%以上としております。当期の中間配当金は1株につき65円とし、年間配当金は130円を予定しております。

1株あたり配当金 (単位:円)

